

令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立平岡南幼稚園
------	-------------

1 教育目標	心豊かに学び合い 育ちあう子どもの育成
---------------	---------------------

2 基本方針	<p>園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。</p> <p>◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を考慮して指導を行う。</p> <p>◇園児の生活経験がそれぞれ異なることを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。</p> <p>◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達や季節などに適切に考慮して活動を展開する。</p>
---------------	--

3 指導目標	<p>目指す幼児像として設定し、日々の保育に努める。</p> <p>①心も体も健やかで明るい子(健康) ②思いやりがあり 心の優しい子(人間関係) ③様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子(環境)</p> <p>④言葉の思いを伝え 素直に表現する子(言葉) ⑤感じる心 考える力のある子(表現)</p>
---------------	---

評価基準
A:できている **B:だいたいできている** **C:あまりできていない** **D:できていない** **E:わからない**

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
基本的生活習慣の確立	規則正しい生活を送り、身の回りのこと等、自分でできることを進んでしようとする自律心が育っているか。(指導目標①)	B	全体的には身の回りの結束や片付け等は進んで取り組んでいる。一方で保護者のアンケートには自分自身のことがまだできないという意見も見受けられる。家庭と連携を図りながら今後も進んでできるポイントとしていく必要がある。	地域としても挨拶ができるようになってきたと感じる。園にくるたびに子ども達の元気な挨拶の音が聞こえるので、今後も続けてほしい。身の回りのことは家庭の状況や最近の子育ての状況もあると思われるが、園と家庭でうまく連携しながら取り組んでほしい。	B
思いやりのある優しい気持ちをもった子の育成	自分の気持ちだけでなく、他者の思いを受け入れ、友達同士や異年齢の関わりの中で温かい関係性が育っているか。(指導目標②④)	A	今年度は異年齢の関わりを意識しながら保育を行っていることで、幼児期のつながりが深くなり、互いの良さを感じる温かい関係づくりができた。3年保育の良さを活かした保育実践に努めていきたい。	行事やオープンスクール等で子ども達がとても仲が良いことが伝わってくる。学年を越えた関わりが今後でもできるように、また3年保育の平岡南の良さを活かし、先生方にも努めてもらいたい。	A
様々な活動に興味関心をもち、主体的に活動する子の育成	様々な活動や遊びに意欲をもってやってみようとする気持ちが育っているか。(指導目標③)	B	学年によって興味関心の広がり方が違うため、教師の保育力が要になってくるように思われる。年長児は行事を通して、一人一人に大きな成長が見られた。学年に応じて実施もできるような教師の関わりや教材研究に努めたい。	公立幼稚園の良さは伸び伸びと子ども達が遊べながら学べることなので、その良さを活かし、子ども達にとっての園生活がさらに充実するようにもしてほしい。	B
小学校教育・地域との連携	小学校や地域の方等、縦横の繋がりが地域の教育力を保育の中で活かして取り組んでいるか。	B	平岡南の豊かな自然環境を保育にもっと活かしていきたい。小学校とは昨年度より近づいたが、連携を深めようとしてきたため、次年度も継続したい。	それぞれの地区では子どもが依然と比べ減少し、横のつながりが薄くなってきていることを感じている。保護者にも園が地域や小学校と連携を図っていることを十分に発信してほしい。	B